

請願書・意見書

永住外国人地方参政権付与に関する請願書

採択

【請願事項】

民主党連立政権は現在、永住外国人に地方参政権を付与する法改正を検討しています。参政権の付与については国民挙げての議論や国民の十分な理解が必要であり、それを抜きにして法案を提出することは、まさに「民主主義」の蹂躪であります。永住外国人への地方参政権付与につきまして、是非慎重に対応して戴きますようお願い致します。

賛成意見

個人の尊厳を尊重しつつも、慎重に議論を要する観点から、賛成多数により、採択され同趣旨の意見書を国に提出しました。

☆請願の賛否意見について

・参政権は国家の将来に責任をとる義務を負う国民に与えられた特別な権利である。
・我が国と国益を異にする外国人に参政権を与えるのは無防備である。
・過去の歴史に係わるデリケートな政策課題であり、さまざまな国際的視点からの議論が必要であることとを申し添え賛成する。

【請願者】

日本会議福岡

理事長 山本 泰藏
代表 草場 重正

【紹介議員】

◇ ◇ ◇

地方参政権の付与については、さまざまな問題点があり、時間をかけた十分な国民的議論が必要であり、

反対意見

・永住外国人に対して、納税の義務を課しているため、地方参政権も付与すべき。

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願書

採択

【請願事項】

家族とは、国の基本です。家族が同じ姓を名乗る日本の一体感ある家庭が、健全な心を持つ子どもたちを育てて行きます。選択的とは言え、この夫婦別姓制度の導入は、明治以来の夫婦一体となった家族制度、良き伝統を壊してしまう働きをします。それ故、民法改正による選択的夫婦別姓制度の導入に反対し、国及び関係諸機関に対して、「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書」の提出をお願い致します。

賛成意見

・家庭の機能として子どもを育てるなかで夫婦、親子がバラバラの姓であることは一体感を失う。
・この制度は夫婦の権利ばかり主張し、子どもの権利に配慮されていない。
・世界に誇れる日本の戸籍制度を壊してはならない。

反対意見

・明治以降、夫婦や親子、家族の在り方が大きく変化し多様化している。姓が変わることが不都合な人もいるため、別姓を選ぶ人がいるのであれば、法で認められるべき。
・必要性を求める声は年々高まっている。選択肢を広げることでより生きやすい社会になる。

【請願者】

日本の子供の未来を・守る会 代表 北田 智子

◇ ◇ ◇

【紹介議員】 柴山 恭子

◇ ◇ ◇

賛成多数により、採択され同趣旨の意見書を国に提出しました。

一部採択

【請願事項】

30人以下学級の実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係わる意見書採択のための請願書

【請願事項】

一、少人数学級を推進し、O E C D諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
二、教育職員の人材を確保するための給与改善を行うこと。
三、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

【請願者】

福岡県教職員組合朝倉支部

支部長 大場 敬子

【紹介議員】

◇ ◇ ◇

請願項目の1と3については、子どもたちの基礎学力の向上と、きめ細かな指導の充実を図り、併せて教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る観点から、趣旨に賛同するも、請願項目の2については、行財政改革が行われている状況を考えてとき、また、現在の厳しい経済情勢の中、教員のみ給与改善を行うことは、理解を得られないため、全員一致により一部採択となり、請願項目1と3の趣旨の意見書を国に提出いたしました。

子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する請願書

継続審査

継続審査

慎重に審査するため、環境民生常任委員会からの申し出のとおり継続審査となりました。

